

題 材 名	わたしたちの衣生活																	
内容・項目	C－（１）																	
指導時間	6時間																	
題材のねらい (題材の特徴)	小学校家庭科で学習した「C快適な衣服と住まい」に関する基礎的・基本的な知識と技能などを基盤にし、衣服の手入れと補修の実習を通して、実生活で通用する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させたい。さらに、衣服の手入れをすることの大切さに気付き、これからの衣生活を展望して、自主的に家庭でも実践しようとする気持ちや、ものを大切にしようとする態度を育成する。																	
指導の流れ (展開の工夫)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時 間</th> <th>指導項目</th> <th>主な指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1時間</td> <td>・衣服のはたらきを考えよう</td> <td>・目的に応じた衣服の着用に関心がもてるように、さまざまな色の色画用紙を衣服に見立て、自分の好きな組み合わせを調べる活動を取り入れ、個性を生かした着用について考えさせる。 鏡で自己判断をしたあと、班内で似合う色など、相互に意見を交換する。【かかわり】</td> </tr> <tr> <td>1時間</td> <td>・衣服を選ぼう</td> <td>・既制服について、表示の意味を理解させる。 ・自分の制服や体操服の表示調べを行う。 ・その後、通販カタログなどを利用し、既制服の適切な選択方法を知る。</td> </tr> <tr> <td>3時間</td> <td>・衣服の手入れと補修をしよう</td> <td>・衣服を快適に着用するためには、手入れや補修が大切であることを理解させる。 ・手入れの方法を知り、家庭での実践を宿題にする。これは、家族の協力を得ることが目的である。 ・補修については、小学校家庭科で学んでいる内容も含め、検定方式で基礎基本の確認をする。 (アイロンのかけ方・玉結び・玉止め・なみ縫い・半返し縫い・しつけ・まつり縫い・ボタン付け・スナップ付け・ミシン縫いの10項目)</td> </tr> <tr> <td>1時間</td> <td>・衣服の計画と再利用について考えよう</td> <td>・前時の授業のボタン付けやスナップ付けを、自分の制服の補修で実践し、手入れの必要性を実感させる。 ・日常着の計画的な活用を考える。私服に関心が低い生徒には、体操服は何枚必要か、制服はどのような手入れの方法が適切かなど、考えやすい内容を取り上げる。</td> </tr> </tbody> </table>			時 間	指導項目	主な指導内容	1時間	・衣服のはたらきを考えよう	・目的に応じた衣服の着用に関心がもてるように、さまざまな色の色画用紙を衣服に見立て、自分の好きな組み合わせを調べる活動を取り入れ、個性を生かした着用について考えさせる。 鏡で自己判断をしたあと、班内で似合う色など、相互に意見を交換する。【かかわり】	1時間	・衣服を選ぼう	・既制服について、表示の意味を理解させる。 ・自分の制服や体操服の表示調べを行う。 ・その後、通販カタログなどを利用し、既制服の適切な選択方法を知る。	3時間	・衣服の手入れと補修をしよう	・衣服を快適に着用するためには、手入れや補修が大切であることを理解させる。 ・手入れの方法を知り、家庭での実践を宿題にする。これは、家族の協力を得ることが目的である。 ・補修については、小学校家庭科で学んでいる内容も含め、検定方式で基礎基本の確認をする。 (アイロンのかけ方・玉結び・玉止め・なみ縫い・半返し縫い・しつけ・まつり縫い・ボタン付け・スナップ付け・ミシン縫いの10項目)	1時間	・衣服の計画と再利用について考えよう	・前時の授業のボタン付けやスナップ付けを、自分の制服の補修で実践し、手入れの必要性を実感させる。 ・日常着の計画的な活用を考える。私服に関心が低い生徒には、体操服は何枚必要か、制服はどのような手入れの方法が適切かなど、考えやすい内容を取り上げる。
時 間	指導項目	主な指導内容																
1時間	・衣服のはたらきを考えよう	・目的に応じた衣服の着用に関心がもてるように、さまざまな色の色画用紙を衣服に見立て、自分の好きな組み合わせを調べる活動を取り入れ、個性を生かした着用について考えさせる。 鏡で自己判断をしたあと、班内で似合う色など、相互に意見を交換する。【かかわり】																
1時間	・衣服を選ぼう	・既制服について、表示の意味を理解させる。 ・自分の制服や体操服の表示調べを行う。 ・その後、通販カタログなどを利用し、既制服の適切な選択方法を知る。																
3時間	・衣服の手入れと補修をしよう	・衣服を快適に着用するためには、手入れや補修が大切であることを理解させる。 ・手入れの方法を知り、家庭での実践を宿題にする。これは、家族の協力を得ることが目的である。 ・補修については、小学校家庭科で学んでいる内容も含め、検定方式で基礎基本の確認をする。 (アイロンのかけ方・玉結び・玉止め・なみ縫い・半返し縫い・しつけ・まつり縫い・ボタン付け・スナップ付け・ミシン縫いの10項目)																
1時間	・衣服の計画と再利用について考えよう	・前時の授業のボタン付けやスナップ付けを、自分の制服の補修で実践し、手入れの必要性を実感させる。 ・日常着の計画的な活用を考える。私服に関心が低い生徒には、体操服は何枚必要か、制服はどのような手入れの方法が適切かなど、考えやすい内容を取り上げる。																